

放射線審議会第114回総会議事録

1. 日時：平成23年3月16日（水曜日）18時30分～19時30分

2. 場所：一 （電子メールによる審議）

3. 議題

(1) 平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について（諮問）

4. 配布資料

資料第 114-1 号 : 平成 23 年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための人事院規則 10-5（職員の放射線障害の防止）の一部改正に係る放射線障害の防止に関する技術的基準の制定について（諮問）

資料第 114-2 号 : 平成 23 年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための人事院規則 10-5（職員の放射線障害の防止）の一部改正に係る放射線障害の防止に関する技術的基準の制定について（答申）

5. 出席者※

委員：丹羽会長、石樽委員、今村委員、梅田委員、大野委員、小松委員、下委員、杉浦委員、中村委員、野崎委員、平井委員、藤原委員、古田委員、榎本委員、米倉委員

※ 鈴木委員は審議事項に関係する当事者であることから、本総会の出席者からは除外した。

事務局：合田科学技術・学術政策局長、渡辺次長・原子力安全監、明野原子力安全課長、中矢放射線規制室長、井上放射線安全企画官、上田放射線規制室長補佐、石井廃棄物対策専門官、荒川企画係長、山外行政調査員

6. 議事

(1) 人事院総裁からの諮問（資料第 114-1 号）について審議を行い、諮問内容について妥当であるとの答申（資料第 114-2 号）を行った。

7. 主な質疑応答

○資料第 114-1 号及び資料第 114-2 号について

【中村委員】 人事院からの、資料第 114-1 号による諮問に対して、資料第 114-2 号により答申することに賛成する。

【下 委員】 諮問案及び答申案に同意する。

【大野委員】 答申案に異論はない。

【古田委員】 先ほど、ニュースにおいて、自衛隊が 50mSv を超えることを理由にヘリコプターによる注水を断念したとの報道があった。国民の生命と財産を守るべき自衛隊が自分たちの被ばくを恐れて 100mSv どころか 50mSv の（線量限度の）壁で何もしないのは残念である。本件については、賛成である。

- 【藤原委員】 諮問に対する答申案に賛成である。
- 【小松委員】 諮問の件は妥当である。資料第 114-2 号の答申に賛成する。
- 【平井委員】 答申に賛成である。
- 【石樽委員】 第 114-1 号の人事院からの諮問内容は妥当である。資料第 114-2 号により答申することに賛成する。
- 【榊本委員】 答申案に同意する。
- 【今村委員】 第 113 回放射線審議会総会との整合性も考え、今回の答申は適切であると判断する。
- 【米倉委員】 答申の件、妥当である。
- 【梅田委員】 諮問の件、妥当である。答申案に賛成する。
- 【平井委員】 人事院からの諮問に対する答申案に賛成する。(福島第一原子力発電所の状況が) 大変な事態になっていることから、できる限り早く収束することを願うことと共に、作業を行っている方々に激励をしたい。
- 【杉浦委員】 承認する。
- 【野崎委員】 答申案に賛成する。
- 【丹羽会長】 今回の人事院からの諮問に対して、放射線審議会委員の過半数を超える賛成又は同意等の確認ができた。これを踏まえ、放射線審議会とて、資料第 114-2 号のとおり答申することとする。

以上

山外 功太郎/文部科学省
2011/03/16 18:28

宛先

cc 吉田 隆彦/文部科学省 2011/03/16 18:28 明野 百成/文部科学省
中矢 隆夫/文部科学省 井上 祐司/文部科学省 正田 智一/文部科学省
bpc 荒川 宗郎/文部科学省 石井 敏満/文部科

件名 ①第114回放射線審議会総会

履歴 過去のメッセージに返信しました。

放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、
緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することが
できないこととされております。

本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて頂いており、現在、

丹羽 太貴 委員
石橋 信人 委員
今村 恵子 委員
梅田 泉 委員
大野 和子 委員
小松 賢志 委員
下 道國 委員
杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
中村 佳代子 委員
野崎 美和子 委員
平井 昭司 委員
藤原 佐枝子 委員
古田 定昭 委員
柳本 和義 委員
米倉 義晴 委員

甲斐 倫明 (連絡とれず)
酒井 一夫 (連絡とれず)
鈴木 良男 (連絡せず)
高倉 かほる (連絡とれず)
山本 英明 (連絡とれず)

の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

◆今回の議題は、大事故からの諮問事項となります。

議題

「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

◆大事故から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申してもよろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎（やまそと こうたろう）

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

TEL

FAX

E-mail



資料第114-1号・詰問:人事院.pdf 資料第114-2号:答申(案)(緊急時被ばく線量):人事院.pdf

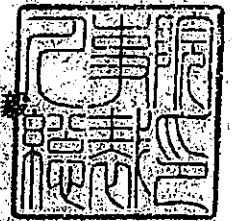
職 職 一 8 3

平成23年3月16日

放射線審議会

会長 舟羽 太真 殿

人事院総裁 江利川 毅



平成23年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための人事院規則10-5(職員の放射線障害の防止)の一部改正に係る放射線障害の防止に関する技術的基準の制定について(諮問)

平成23年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための人事院規則10-5(職員の放射線障害の防止)の一部改正に係る放射線障害の防止に関する技術的基準を別添のとおり制定することについて、放射線障害防止の技術的基準に関する法律(昭和33年法律第162号)第6条の規定に基づき、貴審議会の意見を求める。

(別添)

平成23年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための人事院規則10-5(職員の放射線障害の防止)の一部改正に係る放射線障害の防止に関する技術的基準の制定に係る諮問事項

緊急作業時における被ばく限度

平成23年東北地方太平洋沖地震に起因して原子力災害対策特別措置法(平成11年法律第156号)第15条第2項の規定による原子力緊急事態宣言がなされた日から同条第4項の原子力緊急事態解除宣言がなされた日までの間の同法第17条第8項に規定する緊急事態応急対策実施区域において、特にやむを得ない緊急の場合は、人事院規則10-5(職員の放射線障害の防止)第4条第3項の適用については、同項第1号中「100ミリシーベルト」とあるのは、「250ミリシーベルト」とする。

22 国放審議第 号
平成 23 年 3 月 16 日

人事院総裁
江 利 川 毅 殿

放射線審議会会長
丹 羽 太 貴

平成 23 年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための人事院規則 10-5（職員の放射線障害の防止）の一部改正に係る放射線障害の防止に関する技術的基準の制定について（答申）

平成 23 年 3 月 16 日付け職職-83 をもって諮問のあった件については、妥当である。

なお、当審議会では、「国際放射線防護委員会（ICRP）2007 年勧告（Pub.103）の国内制度等への取入れについて—第二次中間報告—」（平成 23 年 1 月 放射線審議会基本部会）を策定しており、本規定の運用において参考になるものである。



中村佳代子

2011/03/16 18:34

宛先

cc

bcc

件名: Re: ①第114回放射線審議会総会

日本アイソトープ協会の中村佳代子です

大塚院からの、資料114-1号による諮問に対して
資料第114-2号により答申することに賛成いたします

以上、よろしくお取りはからいのほど
お願い致します

中村佳代子
(社)日本アイソトープ協会
管理本部 医療連携室

TEL

FAX

e-mail

Kayoko Nakamura, Ph.D
Japan Radioisotope Association
Department of Administration
Office of Medical Cooperation

TEL

FAX

e.mail



"SHIMO.michikuni"

2011/03/16 18:35

宛先

cc

bcc

件名 Re: ①第114回放射線審議会総会

放射線審議会会長および委員 各位
諮問案および答申案に同意します。

下 道 國

Original Message

From

To

Cc

Sent: Wednesday, March 16, 2011 6:28 PM

Subject: ①第114回放射線審議会総会

> 放射線審議会委員の皆様

> 平素よりお世話になっております。
> 文部科学省放射線規制室の山外です。

> 今回の地震につきまして、メールにて、
> 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

> つきましては、これより

> ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
> 既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

> ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
> 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
> ができないこととされております。

> 本総会のために、先生方には事前に開催のご連絡をさせて
> 頂いており、現在、

- > 丹羽 太真 委員
- > 石樽 慎人 委員
- > 今村 恵子 委員
- > 梅田 泉 委員
- > 大野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道 國 委員
- > 杉浦 神之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野崎 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 榎本 和義 委員

> 米倉 義晴 委員

> 甲斐 倫明 (連絡とれず)

> 酒井 三夫 (連絡とれず)

> 鈴木 良男 (連絡せず)

> 高倉 かほる (連絡とれず)

> 山本 英明 (連絡とれず)

> の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

> 議題

> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

> ◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
> この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

> なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても
> よろしいでしょうか。

> ◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

> ◆
> 文部科学省 科学技術・学術政策局
> 原子力安全課 放射線規制室

> 山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

> 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

> TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]

> E-mail [REDACTED]



2011/03/16 18:40

宛先 [Redacted]
cc [Redacted]
bcc [Redacted]
件名 Re: 第114回放射線審議会総会

丹羽会長
京都医療科学大 大野和子です。
ご連絡いただきました答申案に異論ございません。
宜しく願いたします。

.....
各委員の皆様、事務局の皆様。連日の激務でお疲れのことと存じます。
ご自愛の程お祈り申し上げます。

- > 放射線審議会委員の皆様
- > 平素よりお世話になっております。
- > 文部科学省放射線規制室の山外です。
- >
- > 今回の地震につきまして、メールにて、
- > 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。
- >
- > つきましては、これより
- > ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
- > 既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。
- >
- > ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
- > 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
- > ができないこととされております。
- >
- > 本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて
- > 頂いており、現在、
- >
- > 丹羽 未實 委員
- > 石村 信人 委員
- > 今村 恵子 委員
- > 梅田 果 委員
- > 大野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道國 委員
- > 杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野崎 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 榎本 和義 委員
- > 米倉 義晴 委員
- >
- > 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- > 酒井 一夫 (連絡とれず)
- > 鈴木 良男 (連絡せず)
- > 高倉 かほる (連絡とれず)
- > 山本 英明 (連絡とれず)
- >
- > の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

>>> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

>>> 議題
>>> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
>>> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について（諮問）」

>>> ◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
>>> この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

>>> なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても
>>> よろしいでしょうか。

>>> ◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

>>> ◆
>>> _____
>>> 文部科学省、科学技術・学術政策局
>>> 原子力安全課 放射線規制室

>>> 山外 功太郎（やまそと こうたろう）

>>> 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

>>> TEL. [REDACTED] FAX [REDACTED]

>>> E-mail [REDACTED]



2011/03/16 18:40

宛先

cc

bcc

件名 Re: ①第114回放射線審議会総会

審議会委員の皆様

現在福島原子力発電所の事故に対して、原子力機構としましては対策本部を立ち上げ組織を築いて支援をしています。先ほどのニュースで自衛隊が5.0mSvを超えるとのことでヘリコプターによる注水を断念したとの報道がありました。国民の生命と財産を守るべき自衛隊が自分たちの被ばくを恐れて1.00mSvどころか5.0mSvの壁で何もしないのは残念でなりません。一刻も早く緊急作業に伴う線量限度を一律に2.50mSvに変更して頂き、災害対策が進むことを希望します。従って本件は賛成いたします。

古田定昭 FURUTA Sadaaki (内線) [redacted]
(独)日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター
核燃料サイクル工学研究所 放射線管理部
Tel: 029-282-1111 (代表) [redacted] (直通)
Fax: [redacted] E-mail: [redacted]

(2011/03/16 18:28) [redacted] wrote:

- > 放射線審議会委員の皆様
- >
- > 平素よりお世話になっております。
- > 文部科学省放射線規制室の山外です。
- >
- > 今回の地震につきまして、メールにて、
- > 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。
- >
- > つきましては、これより
- > ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
- > 既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。
- >
- > ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
- > 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
- > ができないこととされております。
- >
- > 本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて頂いており、現在、
- >
- > 丹羽 太貫 委員
- > 石樽 信人 委員
- > 今村 憲子 委員
- > 梅田 泉 委員
- > 犬野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道國 委員
- > 杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野寄 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 掛本 和義 委員
- > 米倉 義晴 委員
- >
- > 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- > 酒井 一夫 (連絡とれず)
- > 鈴木 良男 (連絡せず)

> 高倉 かほる (連絡とれず)
> 山本 英明 (連絡とれず)

> の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

> 議題
> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

> ◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
> この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

> なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても
> よろしいでしょうか。

> ◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまもと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]
E-mail [REDACTED]



Saeko Fujiwara

2011/03/16 18:41

宛先

cc

bcc

件名 Re: ①第114回放射線審議会総会

放射線審議会会長、委員各位

人事院からの諮問に対する答申案に賛成いたします。

放射線影響研究所 藤原 佐枝子

(2011/03/16 18:28) wrote:

> 放射線審議会委員の皆様

> 平素よりお世話になっております。
> 文部科学省放射線規制室の山外です。

> 今回の地震につきまして、メールにて、
> 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

> つきましては、これより

> ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
> 既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

> ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
> 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
> ができないこととされております。

> 本総会のために、先生方には事前に開催のご連絡をさせて
> 頂いており、現在、

- > 丹羽 大真 委員
- > 石橋 信人 委員
- > 今村 恵子 委員
- > 梅田 泉 委員
- > 大野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道國 委員
- > 杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野崎 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 樹本 和義 委員
- > 米倉 義晴 委員

- > 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- > 酒井 一夫 (連絡とれず)
- > 鈴木 良男 (連絡せず)
- > 高倉 かほる (連絡とれず)
- > 山本 英明 (連絡とれず)

> の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

> 議題

> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

> ◆人事院から、資料114-1号により詰問が来ております。
> この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

> なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても
> よろしいでしょうか。

> ◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]

E-mail: [REDACTED]



Kenshi Komatsu

宛先

2011/03/16 18:45

cc

bcc

件名 Re: 第114回放射線審議会総会

丹羽 放射線審議会会長殿

諸問の件。妥当と思いますので資料第114-2号の答申に賛成します。

小松 賢志 様
京都大学放射線生物研究センター
ゲノム動態研究部門
〒606-8501京都市左京区吉田近衛町
電話：075-753-7550
FAX
E-mail

> 放射線審議会委員の皆様

> 平素よりお世話になっております。
> 文部科学省放射線規制室の山外です。

> 今回の地震につきまして、メールにて
> 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

> つきましては、これより

> ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
> 既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

> ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
> 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
> ができないこととされております。

> 本総会のために、先生方には事前開催のご連絡をさせて頂いており、現在、

- > 丹羽 太貴 委員
- > 石橋 信人 委員
- > 今村 恵子 委員
- > 梅田 泉 委員
- > 大野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道國 委員
- > 杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野崎 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 榎本 和義 委員
- > 米倉 義晴 委員

- > 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- > 酒井 一夫 (連絡とれず)
- > 鈴木 良男 (連絡せず)
- > 高倉 かほる (連絡とれず)
- > 山本 英明 (連絡とれず)

> の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

議題

「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について（諮問）」

◆大審院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても
よろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎（やまもと こうたろう）

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号

TEL

FAX

E-mail



Ishiguro, N.

2011/03/16 18:47

宛先

cc

bcc

件名 Re: ①第114回放射線審議会総会

各位

名古屋大学の石樽です。

資料114-1号人事院からの諮問内容は妥当であると思います。資料第114-2号により答申することに賛成いたします。

At 18:28 11/03/16, [redacted] wrote:

>放射線審議会委員の皆様

>

>平素よりお世話になっております。

>文部科学省放射線規制室の山外です。

>

>

>今回の地震につきまして、メールにて

>緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

>

>つきましては、これより

>

>◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。

>既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

>

>◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、

>委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること

>ができないこととされており、

>

>本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて

>頂いており、現在、

>

>丹羽 太真 委員

>石樽 信人 委員

>今村 恵子 委員

>梅田 泉 委員

>大野 和子 委員

>小松 賢志 委員

>下 道國 委員

>杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)

>中村 佳代子 委員

>野崎 英和子 委員

>平井 昭司 委員

>藤原 佐枝子 委員

>古田 定昭 委員

>樹本 和義 委員

>米倉 義晴 委員

>

>甲斐 倫明 (連絡とれず)

>酒井 一夫 (連絡とれず)

>鈴木 良男 (連絡せず)

>高倉 かほる (連絡とれず)

>山本 英明 (連絡とれず)

>

>の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

>

>◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

>

>議題

>「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に

>対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

>

◆大審院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申してもよろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室
山外 功太郎 (やまもと こうたろう)
〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]
E-mail: [REDACTED]

石樽 信人 (イシヅメ ノブヒト)
名古屋市東区大幸南1-1-20 (〒461-8673)
名古屋大学
医学部保健学科
TEL: [REDACTED]
FAX: [REDACTED] (宛先: 石樽、とご明記下さい)



masumoto.kazuyoshi

2011/03/16 18:49

宛先

cc

bcc

件名 Re: ①第114回放射線審議会総会

放射線審議会丹羽会長並びに委員の皆様

諮問に対する答申案に同意します。

榎本和義

> 放射線審議会委員の皆様

> 平素よりお世話になっております。
> 文部科学省放射線規制室の山外です。

> 今回の地震につきまして、メールにて、
> 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

> つきましては、これより

> ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
> 既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

> ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
> 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
> ができないこととされております。

> 本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて
> 頂いており、現在、

- > 丹羽 太真 委員
- > 石橋 信人 委員
- > 今村 薫子 委員
- > 梅田 泉 委員
- > 大野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道國 委員
- > 杉浦 神之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野崎 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 榎本 和義 委員
- > 米倉 義晴 委員

- > 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- > 酒井 一夫 (連絡とれず)
- > 鈴木 良男 (連絡せず)
- > 高倉 かほる (連絡とれず)
- > 山本 英明 (連絡とれず)

> の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

> 議題

> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

◆人事院から、資料14-1号により格別が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程を願ひ申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第14-2号により、各申しでも
よろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、生記についてのご審議をお願い申し上げます。

文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまもと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]

E-mail: [REDACTED]

榎本和彦

高エネルギー加速器研究機構
放射線科学センター

TEL: [REDACTED]

FAX: 029-864-1983

Mail to: [REDACTED]



2011/03/16 18:52

宛先

cc

bcc

件名 Re: ①第114回放射線審議会総会

放射線審議会会長、委員の皆様

前2回の答申との整合性も考え、今回の答申は適切と判断します。

よろしくお取り計らいください。

今村恵子

— yamasoto@mext.go.jp wrote:

> 放射線審議会委員の皆様

> 平素よりお世話になっております。
> 文部科学省放射線規制室の山外です。

> 今回の地震につきまして、メールにて、
> 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

> つきましては、これより

> ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
> 既に、本件に関し、丹羽会長にばら連絡済みです。

> ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
> 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
> ができないこととされております。

> 本総会のために、先生方には事前開催のご連絡をさせて頂いており、現在、

> 丹羽 太真 委員
> 石井 信人 委員
> 今村 恵子 委員
> 梅田 泉 委員
> 大野 和子 委員
> 小松 賢志 委員
> 下 道國 委員
> 杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
> 中村 佳代子 委員
> 野村 美和子 委員
> 平井 昭司 委員
> 藤原 佐枝子 委員
> 古田 定昭 委員
> 洲本 和義 委員
> 米倉 義晴 委員

> 甲斐 倫明 (連絡とれず)
> 酒井 一夫 (連絡とれず)
> 鈴木 良男 (連絡せず)
> 高倉 かほる (連絡とれず)
> 山本 英明 (連絡とれず)

> の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

> 議題

> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について（諮問）」

> ◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
> この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

> なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても
> よろしいでしょうか。

> ◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎（やまもと こうたろう）

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]

E-mail [REDACTED]



Yoshiharu Yonekura
2011/03/16 18:53

宛先 [Redacted]
cc [Redacted]
bcc [Redacted]
件名 RE: ①第114回放射線審議会総会

各申の件、妥当であると考えます。
米倉

独立行政法人 放射線医学総合研究所
理事長 米倉 義晴
〒263-8555 千葉県稲毛区六川4-9-1
TEL [Redacted] FAX [Redacted]
E-mail [Redacted]
<http://www.ahirs.go.jp>

Original Message

From [Redacted] [mailto:[Redacted]]
Sent: Wednesday, March 16, 2011 6:29 PM
To: [Redacted]
Cc: [Redacted]

Subject: ①第114回放射線審議会総会
放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、
緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することが
できないこととされております。

本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて頂いており、現在、

- 丹羽 太真 委員
- 石博 信人 委員
- 今村 憲子 委員
- 梅田 泉 委員
- 大野 和子 委員
- 小松 賢志 委員

下 道國 委員
杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
中村 佳代子 委員
野村 美和子 委員
平井 昭司 委員
藤原 佐枝子 委員
古田 定昭 委員
外本 和義 委員
米倉 誠晴 委員
甲斐 倫明 (連絡とれず)
酒井 三夫 (連絡とれず)
鈴木 良男 (連絡せず)
高倉 かほる (連絡とれず)
山本 英明 (連絡とれず)

の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

議題

「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について(諮問)」

◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申してもよろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]
E-mail [REDACTED]



"Izumi O. Umeda"

2011/03/16 18:53

宛先

cc

bcc

件名 RE: ①第114回放射線審議会総会

丹羽会長
放射線審議会委員各位

諮問の件、妥当と考えます。
答申案に賛成いたします。

梅田 泉

独立行政法人 国立がん研究センター
東病院 臨床開発センター 機能診断開発部
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1
TEL (研究室) / Fax
TEL (代表) 04-7133-4444
Email

諮問に対する答申案に同意します。

榎本和義

Original Message

From [mailto:]
Sent: Wednesday, March 16, 2011, 6:29 PM
To: []

Cc: []

Subject: ①第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、
緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること

> ができないこととされております。

> 本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて頂いており、現在

- > 丹羽 太貴 委員
- > 石橋 信人 委員
- > 今村 恵子 委員
- > 梅田 泉 委員
- > 大野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道國 委員
- > 杉浦 健之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野崎 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 樹本 和義 委員
- > 米倉 義晴 委員

- > 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- > 酒井 三夫 (連絡とれず)
- > 鈴木 良男 (連絡とれず)
- > 高倉 かほる (連絡とれず)
- > 山本 英明 (連絡とれず)

> の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

> ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

> 議題

> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

> ◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
> この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

> なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても
> よろしいでしょうか。

> ◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

> 文部科学省 科学技術・学術政策局
> 原子力安全課 放射線規制室

> 山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

> 〒100-8959 東京都千代田区霧が関三丁目2-2
> TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]
> E-mail : [REDACTED]



平井昭司 [Redacted]
2011/03/16 19:01

宛先 [Redacted]
cc [Redacted]
bcc [Redacted]

件名 RE: ①第114回放射線審議会総会

放射線審議会会長、委員各位

入事院からの諮問に対する答申案に賛成いたします。
大変な事態になっています。
できるだけ早く終息することを願うことと共に、作業を行っている方々に激励をした
いと思います。

平井昭司（東京都市大学）
（自筆）

[Redacted]
または [Redacted]

Original Message

From: [Redacted] [mailto:[Redacted]]
Sent: Wednesday, March 16, 2011, 6:29 PM
To: [Redacted]

[Redacted]

Subject: ①第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、
緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
ができないこととされております。

本總會のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて
頂いており、現在、

- 丹羽 太真 委員
- 石井 信人 委員
- 今村 恵子 委員
- 梅田 泉 委員
- 大野 和子 委員
- 小松 賢志 委員
- 下 道國 委員

杉浦 紳之 委員 (携帯メールにて確認)
中村 佳代子 委員
野青 美和子 委員
光井 昭司 委員
藤原 佐枝子 委員
向田 定昭 委員
秋本 和義 委員
米倉 穂積 委員

甲斐 倫明 (連絡とれず)
酒井 三夫 (連絡とれず)
鈴木 良男 (連絡とれず)
高倉 かほる (連絡とれず)
山本 英明 (連絡とれず)

の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

議題

「平成三十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

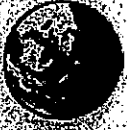
なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申してもよろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]
E-mail [REDACTED]



2011/03/16 18:01

宛先

cc

bcc

件名 Re:①第114回放射線審議会

承認します。

今、早期帰国すべく空港に向かっています。確定ではありませんが。

山外 功太郎/文部科学省
2011/03/16 19:07

宛先 山外 功太郎/文部科学省

cc

bcc

件名 ②第114回放射線審議会総会自

丹羽会長、放射線審議会委員の皆様

人事院からの諮問の内容につきまして、
以下の委員から、賛成又は同意等の返信を頂いております。

石博信人 委員
今村恵子 委員
梅田泉 委員
大野和子 委員
小松夏志 委員
下道國 委員
杉浦紳之 委員 (携帯メールにて確認)
中村佳代子 委員
平井昭司 委員
藤原佐枝子 委員
吉田定昭 委員
柳本和義 委員
米倉龍晴 委員
甲斐倫明 (連絡とれず)
酒井三夫 (連絡とれず)
鈴木良男 委員 (連絡せず)
高倉かほる 委員 (連絡とれず)
野崎美和子 委員 (連絡とれず)
山本英明 委員 (連絡とれず)

丹羽 太貴会長>
上記を踏まえ、とりまとめをお願いいたします。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL FAX
E-mail

山外 功太郎/文部科学省
2011/03/16 18:28

宛先

CC
合田 隆史/文部科学省、渡辺 格/文部科学省、明野 吉成/文部科学省、中矢 隆夫/
文部科学省、井上 裕司/文部科学省、上田 智一/文部科学省、荒川 一郎/文部科学
省、石井 敏清/文部科学省

件名

①第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、
緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
ができないこととされております。

本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて
頂いており、現在、

丹羽 太真 委員
石井 信人 委員
今村 恵子 委員
梅田 泉 委員
犬野 和子 委員
小松 賢志 委員
下 道國 委員
杉浦 神之一 委員（携帯メールにて確認）
中村 佳代子 委員
野崎 美和子 委員
平井 昭司 委員
藤原 佐枝子 委員
吉田 定昭 委員
榎本 和義 委員
米倉 義晴 委員

甲斐 倫明（連絡とれず）
酒井 一夫（連絡とれず）
鈴木 良男（連絡せず）
高倉 かほる（連絡とれず）
山本 英明（連絡とれず）

の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

議題

「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について（諮問）」

◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申しても

よろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]
E-mail: [REDACTED]



資料第114-1号: 諮問: 人事院.pdf 資料第114-2号: 答申(案)(緊急時被ばく線量): 人事院.pdf



野崎 美和子
2011/03/16 18:10

宛先 [Redacted]
cc [Redacted]
bcc [Redacted]
件名 Re: 回第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員各位

返信がおくれました。
申し訳ありません。
各申案に賛成いたします。

野崎美和子

On 2011/03/16, at 18:28, [Redacted] wrote:

- > 放射線審議会委員の皆様
- > 平素よりお世話になっております。
- > 文部科学省放射線規制室の山外です。
- >
- > 今回の地震につきまして、メールにて、
- > 緊急に諮問させていただきたい案件がございます。
- >
- > つきましては、これより
- >
- > ◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
- > 既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。
- >
- > ◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
- > 委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
- > ができないこととされております。
- >
- > 本総会のために、先生方には事前に開催のご連絡をさせて
- > 頂いており、現在、
- >
- > 丹羽 太貴 委員
- > 石橋 信人 委員
- > 今村 恵子 委員
- > 梅田 泉 委員
- > 大野 和子 委員
- > 小松 賢志 委員
- > 下 道國 委員
- > 杉浦 神之 委員 (携帯メールにて確認)
- > 中村 佳代子 委員
- > 野崎 美和子 委員
- > 平井 昭司 委員
- > 藤原 佐枝子 委員
- > 古田 定昭 委員
- > 柳本 和義 委員
- > 米倉 義晴 委員
- >
- > 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- > 酒井 一夫 (連絡とれず)
- > 鈴木 良男 (連絡せず)
- > 高倉 かほる (連絡とれず)
- > 山本 英明 (連絡とれず)
- >
- > の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たし
- > ております。
- >
- > ◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。
- >
- > 議題

> 「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に
> 対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について（諮問）」

◆ 人事院から、資料114-1号により諮問が来しております。
> この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

> なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、
> 答申しても
> よろしいでしょうか。

◆ 委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し
> 上げます。

◆
> 文部科学省 科学技術・学術政策局
> 原子力安全課 放射線規制室
> 山外 功太郎（やまそと こうたろう）
> 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
> TEL. [REDACTED] FAX [REDACTED]
> E-mail [REDACTED]

> <資料第114-1号：諮問：人事院.pdf><資料第
> 114-2号：答申（案）（緊急時被ばく線量）：人事院.pdf>



Niwa
 2011/03/16 19:27

宛先
 CC
 bcc
 件名 Re: ②第114回放射線審議会総会

このメッセージに返信しました。

放射線審議会委員の皆様

今回人事院からの諮問に対しましては、放射線審議会委員の過半数を超える賛成又は同意等の確認ができました。これを踏まえ、放射線審議会として、資料第114-2号のとおり答申することといたします。
 なお、答申にあたっては第114回放射線審議会としてメールのやりとりを開始した平成23年3月16日付けで答申することといたします。

このたびは国難のおり、迅速なご協力に心から感謝いたします。

放射線審議会々長
 丹羽太良

Original Message

From
 To
 Cc

Sent: Wednesday, March 16, 2011 7:07 PM
 Subject: ②第114回放射線審議会総会
 丹羽会長、放射線審議会委員の皆様

人事院からの諮問の内容につきまして、以下の委員から、賛成又は同意等の返信を頂いております。

- 石博信人 委員
- 今村恵子 委員
- 梅田泉 委員
- 大野和子 委員
- 小松賢志 委員
- 下道國 委員
- 杉浦紳之 委員 (携帯メールにて確認)
- 中村佳代子 委員
- 平井昭司 委員
- 藤原佐枝子 委員
- 古田定昭 委員
- 榎本和義 委員
- 米倉義晴 委員

甲斐倫明(連絡とれず)

酒井一夫(連絡とれず)
鈴木良男 委員(連絡せず)
高倉かほる 委員(連絡とれず)
野崎美和子 委員(連絡とれず)
山本英明 委員(連絡とれず)

丹羽 太真会長>
上記を踏まえ、とりまとめをお願いいたします。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎(やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]
E-mail [REDACTED]

山外 功太郎/文部科学省
2011/03/16 18:28

宛先
[REDACTED]

CC

合田 隆史/文部科学省, 渡辺 格/文部科学省, 明野 吉成/文部科学省, 中矢 隆夫/
文部科学省, 井上 裕司/文部科学省, 上田 智一/文部科学省, 荒川 一郎/文部科学
省, 石井 敏満/文部科学省

件名

①第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、

緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができないこととされております。

本総会のために、先生方には事前に開催のご連絡をさせて頂いており、現在、

丹羽 大真 委員
石橋 信人 委員
今村 恵子 委員
梅田 泉 委員
大野 和子 委員
小松 賢志 委員
下 道國 委員
杉浦 紳之 委員(携帯メールにて確認)
中村 佳代子 委員
野崎 美和子 委員
平井 昭司 委員
藤原 佐枝子 委員
百田 定昭 委員
柳本 和義 委員
米倉 義晴 委員

甲斐 倫明(連絡とれず)
酒井 一夫(連絡とれず)
鈴木 良男(連絡せず)
高倉 かほる(連絡とれず)
山本 英明(連絡とれず)

の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

議題

「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について(諮問)」

◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申してもよろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎(やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]

E-mail: [REDACTED]

井上 裕司/文部科学省
2011/03/16 19:30

宛先: Niwa

cc:

bcc:

件名: Re: ②第114回放射線審議会総会

放射線審議会

丹羽 会長

並びに

委員の皆様

突然の緊急招集にご協力をいただき、また、諮問内容に
真摯にご審議いただき誠に有り難うございます。
今回の諮問は、国家公務員についても
現在の福島第1原子力発電所における難局を打開し、
地元の方々の安全を確保するための打開策のひとつとして選択された
緊急性を有する重要な案件であったと存じます。
このような重要な審議にご協力を頂き、事務局としても大変感謝致し
ます。
今後とも放射線審議会の運営をよろしくお願い申し上げます。

.....
文部科学省
科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室
放射線安全企画官 井上裕司
Yuji Inoue
Director for Radiation Protection Policy
Office of Radiation Regulations,
Nuclear Safety Division,
Science and Technology Policy Bureau,
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)
〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2
3-2-2 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo
100-8959, Japan
Tel: +81-03-5253-4111 (ex. [redacted])
(direct)

Fax: [redacted]

E-mail: [redacted]

.....
文部科学省
科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室
放射線安全企画官 井上裕司
Yuji Inoue
Director for Radiation Protection Policy
Office of Radiation Regulations,
Nuclear Safety Division,
Science and Technology Policy Bureau,
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)
〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2
3-2-2 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo
100-8959, Japan
Tel: +81-03-5253-4111 (ex. [redacted])
(direct)

Fax: [redacted]

E-mail: [redacted]

Niwa
2011/03/16 19:27

宛先

CC

件名
Re: ②第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

今回人事院からの諮問に対しましては、放射線審議会委員の過半数を超える賛成又は同意等の確認ができました。これを踏まえ、放射線審議会として、資料第114-2号のとおり答申することといたします。
なお、答申にあたっては第114回放射線審議会としてメールのやりとりを開始した平成23年3月16日付けで答申することといたします。

このたび国難のおり、迅速なご協力に心から感謝いたします。

放射線審議会々長
丹羽太真

Original Message

From

To

Cc

Sent: Wednesday, March 16, 2011 7:07 PM
Subject: ②第114回放射線審議会総会

丹羽会長、放射線審議会委員の皆様

人事院からの諮問の内容につきまして、以下の委員から、賛成又は同意等の返信を頂いております。

石村信人 委員
今村恵子 委員
梅田泉 委員
大野和子 委員
小松賢志 委員
下道國 委員
杉浦神之 委員 (携帯メールにて確認)
中村佳代子 委員

平井昭司 委員
藤原佐枝子 委員
古田定昭 委員
岡本和義 委員
米倉義晴 委員

用斐倫明 (連絡とれず)
酒井三夫 (連絡とれず)
鈴木良男 委員 (連絡せず)
高倉がほる 委員 (連絡とれず)
野崎美和子 委員 (連絡とれず)
山本英明 委員 (連絡とれず)

丹羽 太真会長>
上記を踏まえ、とりまとめをお願いいたします。

文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]
E-mail: [REDACTED]

山外 功太郎/文部科学省
2011/03/16 18:28

宛先

[REDACTED]

[REDACTED]

CC
合田 隆史/文部科学省、渡辺 格/文部科学省、明野 吉成/文部科学省、中矢 隆夫/
文部科学省、井上 裕司/文部科学省、上田 智一/文部科学省、荒川 一郎/文部科学
省、石井 敏満/文部科学省

件名
①第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、
緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができないこととされており、

本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて頂いており、現在、

丹羽 夫貴 委員
石井 信人 委員
今村 恵子 委員
梅田 泉 委員
大野 和子 委員
小松 賢志 委員
下 道國 委員
杉浦 綱之 委員 (携帯メールにて確認)
中村 佳代子 委員
野崎 美和子 委員
平井 昭司 委員
藤原 佐枝子 委員
古田 定昭 委員
柳本 和義 委員
米倉 義晴 委員

甲斐 倫明 (連絡とれず)
酒井 一夫 (連絡とれず)
鈴木 良男 (連絡せず)
高倉 かほる (連絡とれず)
山本 英明 (連絡とれず)

の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

議題

「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について (諮問)」

◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申してもよろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまそと こうたろう)

〒100-8950 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]
E-mail: [REDACTED]

山外 功太郎/文部科学省
2011/03/16 19:31

宛先 Niwa [redacted]
cc [redacted]
bcc [redacted]
件名 ③第114回放射線審議会総会(閉会)目

放射線審議会委員の皆様

以上をもちまして、第114回放射線審議会総会を閉会したいと思います。
ご協力いただきまして大変ありがとうございました。

◆
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまもと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL [redacted] FAX [redacted]
E-mail [redacted]

"Niwa" [redacted]
2011/03/16 19:27

宛先 [redacted]

CC [redacted]

件名
Re: ②第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

今回人事院からの諮問に対しましては、放射線審議会委員の過半数を超える賛成又は同意等の確認ができました。これを踏まえ、放射線審議会として、資料第114-2号のとおり答申することといたします。
なお、答申にあたっては第114回放射線審議会としてメールのやりとりを開始した平成23年3月16日付けで答申することといたします。

このたび国難のおり、迅速なご協力に心から感謝いたします。

放射線審議会々長
丹羽大貴

Original Message

From: [REDACTED]
To: [REDACTED]
Cc: [REDACTED]

Sent: Wednesday, March 16, 2011, 7:07 PM
Subject: ②第114回放射線審議会総会

丹羽会長、放射線審議会委員の皆様

人専院からの諮問の内容につきまして、
以下の委員から、賛成又は同意等の返信を頂いております。

石橋信人 委員
今村恵子 委員
梅田泉 委員
大野和子 委員
小松賢志 委員
下道國 委員
杉浦紳之 委員 (携帯メールにて確認)
中村佳代子 委員
平井昭司 委員
藤原佐枝子 委員
古田定昭 委員
柳本和義 委員
米倉義晴 委員
甲斐倫明 (連絡とれず)
酒井二夫 (連絡とれず)
鈴木良男 委員 (連絡せず)
高倉かほる 委員 (連絡とれず)
野崎美和子 委員 (連絡とれず)
山本英明 委員 (連絡とれず)

丹羽 大貴会長>
上記を踏まえ、とりまとめをお願いいたします。

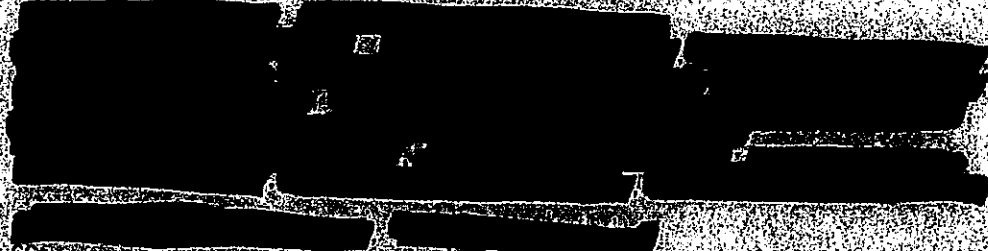
文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎 (やまもと こうたろう)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2
TEL [REDACTED] FAX [REDACTED]
E-mail [REDACTED]

山外 功太郎/文部科学省
2011/03/16 18:28

宛先



CC
合田 隆史/文部科学省、渡辺 格/文部科学省、明野 吉成/文部科学省、中矢 隆夫/
文部科学省、井上 裕司/文部科学省、上田 智一/文部科学省、荒川 一郎/文部科学
省、石井 敏清/文部科学省

件名
①第114回放射線審議会総会

放射線審議会委員の皆様

平素よりお世話になっております。
文部科学省放射線規制室の山外です。

今回の地震につきまして、メールにて、
緊急に諮問させていただきたい案件がございます。

つきましては、これより

◆第114回放射線審議会総会を開催させていただきます。
既に、本件に関し、丹羽会長にはご連絡済みです。

◆放射線審議会総会は、放射線審議会令第4条の規定により、
委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決すること
ができないこととされており、

本総会のために、先生方には事前に関催のご連絡をさせて
頂いており、現在、

- 丹羽 太真 委員
- 石橋 信人 委員
- 今村 恵子 委員
- 梅田 果 委員
- 大野 和子 委員
- 小松 賢志 委員
- 下 道國 委員
- 杉浦 神之 委員 (携帯メールにて確認)
- 中村 佳代子 委員
- 野崎 美和子 委員
- 平井 昭司 委員
- 藤原 佐枝子 委員
- 古田 定昭 委員
- 樹本 和義 委員
- 米倉 義晴 委員

- 甲斐 倫明 (連絡とれず)
- 酒井 一夫 (連絡とれず)
- 鈴木 良男 (連絡せず)
- 高倉 かほる (連絡とれず)
- 山本 英明 (連絡とれず)

の先生方に参加していただくことになっており、定足数を満たしております。

◆今回の議題は、人事院からの諮問事項となります。

議題

「平成二十三年東北地方太平洋沖地震に起因して生じた事態に対応するための放射線障害の防止に係る技術的基準について（諮問）」

◆人事院から、資料114-1号により諮問が来ております。
この資料の内容につきまして、ご審議の程お願い申し上げます。

なお、審議の結果、妥当であれば、資料第114-2号により、答申してもよろしいでしょうか。

◆委員の先生方の皆様には、上記についてのご審議をお願い申し上げます。

文部科学省 科学技術・学術政策局
原子力安全課 放射線規制室

山外 功太郎（やまそと こうたろう）

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2-2

TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]

E-mail: [REDACTED]